

地域のお客さまとともに

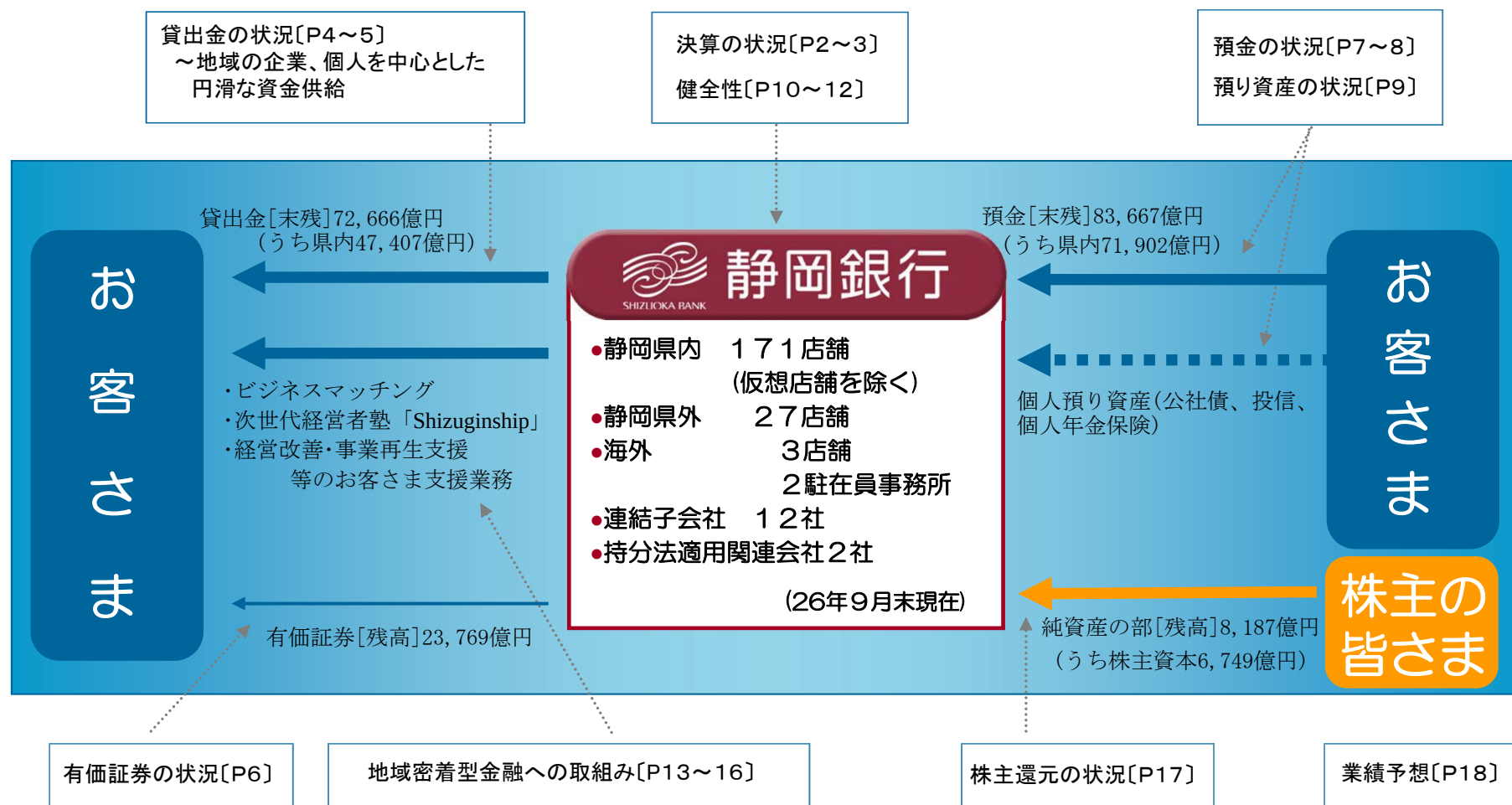
～平成26年度中間決算ハイライト～



静岡銀行

地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。

また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

決算の状況(連結)

(億円、%)

《連結決算の状況》	26年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
連結経常収益	1,126	△124	△10.0
連結経常費用(△)	756	△34	△4.3
連結経常利益	370	△90	△19.6
連結中間純利益	242	△51	△17.3

連結経常収益 前年同期比△124億円減収(2期振り)

連結経常費用 前年同期比△34億円減少

連結経常利益 前年同期比△90億円減益(2期振り)

連結中間純利益 前年同期比△51億円減益(2期連続)

《連結子会社(12社)》

静銀経営コンサルティング(株)
 静銀リース(株)
 静岡コンピューターサービス(株)
 静銀信用保証(株)
 静銀ディーシーカード(株)
 静岡キャピタル(株)
 静銀ティーエム証券(株)
 静銀総合サービス(株)
 静銀モーゲージサービス(株)
 静銀ビジネスクリエイト(株)
 欧州静岡銀行

Shizuoka Liquidity Reserve Limited※

《持分法適用関連会社(2社)》

静銀セゾンカード(株)
 マネックスグループ(株)※

※平成26年度中間期より追加しています。

- 連結経常収益は、資金運用収益(△97億円)および国債等債券売却益(△49億円)の減少を主因に、前年同期比△124億円の1,126億円となりました。
- 連結経常費用は、国債等債券売却損が減少(△135億円)したものの、持分法適用関連会社株式の株価下落に伴う持分法投資損失の計上(87億円)により、前年同期比△34億円の756億円となりました。
- この結果、連結経常利益は、前年同期比△90億円の370億円となりました。また、連結中間純利益についても負ののれん発生益(23億円)を計上したものの前年同期比△51億円の242億円となりました。

決算の状況(単体)

(億円、%)

《静岡銀行単体の状況》	26年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経常収益	954	△122	△11.3
業務粗利益	792	△13	△1.7
資金利益	582	△101	△14.8
役務取引等利益	77	+1	+1.4
特定取引利益	2	△1	△39.6
その他業務利益	130	+88	+210.8
(うち国債等債券関係損益)	123	+87	+238.8
経費 (△)	411	+3	+0.8
基礎的業務純益※1	258	△103	△28.6
実質業務純益※2	381	△17	△4.2
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
業務純益	381	△17	△4.2
臨時損益	41	+19	+88.4
うち不良債権処理額 (△)	3	△2	△42.6
うち貸倒引当金戻入益	14	△12	△46.3
うち株式等関係損益	28	+29	+2,576.0
経常利益	422	+3	+0.6
特別損益	△88	△81	△1,191.7
税引前中間純利益	334	△79	△19.0
法人税等合計 (△)	136	△5	△3.9
中間純利益	198	△73	△26.9

※1 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※2 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

経常収益 前年同期比△122億円減収(2期振り)

- 経常収益は、資金運用収益（△98億円）および国債等債券売却益（△48億円）の減少を主因に、前年同期比△122億円の954億円となりました。

業務粗利益 前年同期比△13億円減益(2期振り)

- 業務粗利益は、国債等債券関係損益を中心にその他業務利益が増加（+88億円）したものの、投資信託収益の減少を中心とした資金利益の減少（△101億円）により、前年同期比△13億円の792億円となりました。

業務純益 前年同期比△17億円減益(6期振り)

- 業務純益は、業務粗利益の減少に加え経費の増加（+3億円）により、前年同期比△17億円の381億円となりました。

経常利益 前年同期比+3億円増益(2期連続) [過去最高益]

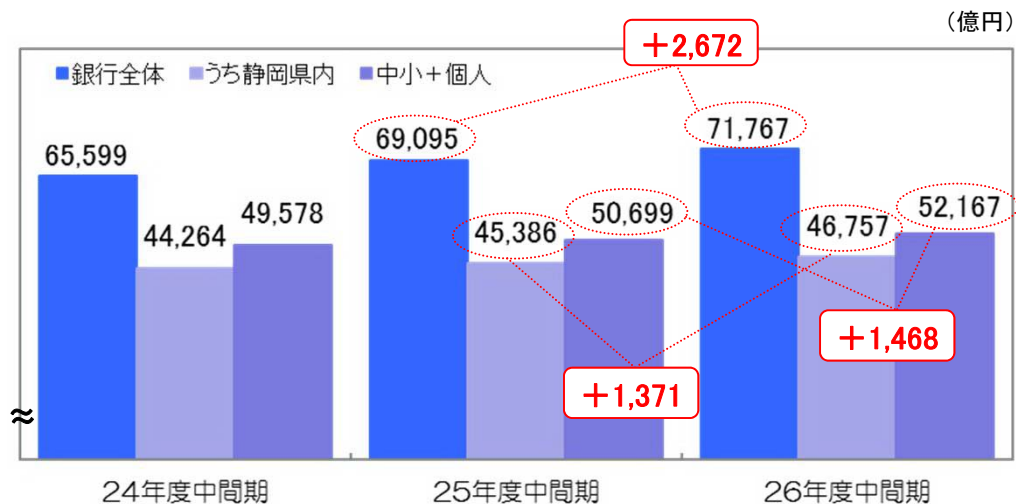
- 経常利益は、貸倒引当金戻入益が減少（△12億円）したものの、株式等関係損益の改善（+29億円）により、前年同期比+3億円の422億円となりました。

中間純利益 前年同期比△73億円減益(2期振り)

- 中間純利益は、持分法適用関連会社の株式評価損の計上（87億円）により、前年同期比△73億円の198億円となりました。

貸出金の状況①

貸出金残高(平残)の推移



●26年度中間期の貸出金残高(平残)は、71,767億円と前年同期比+2,672億円(年率+3.9%)の増加となりました。

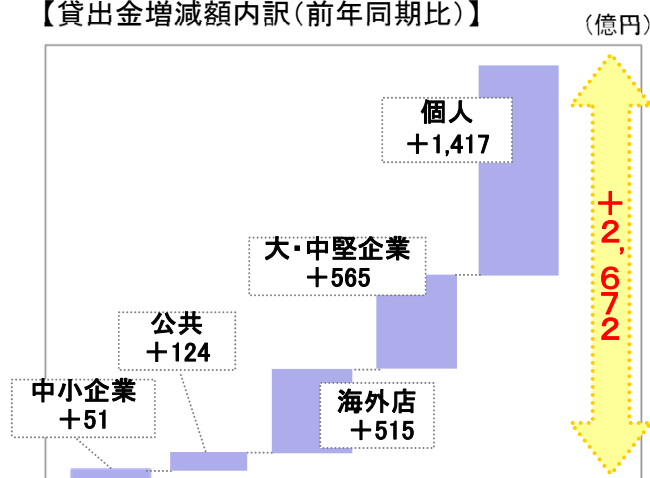
貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・個人向け +1,417億円(年率+6.0%)
- ・大・中堅企業向け +565億円(年率+3.9%)
- ・海外店 +515億円(年率+29.4%)

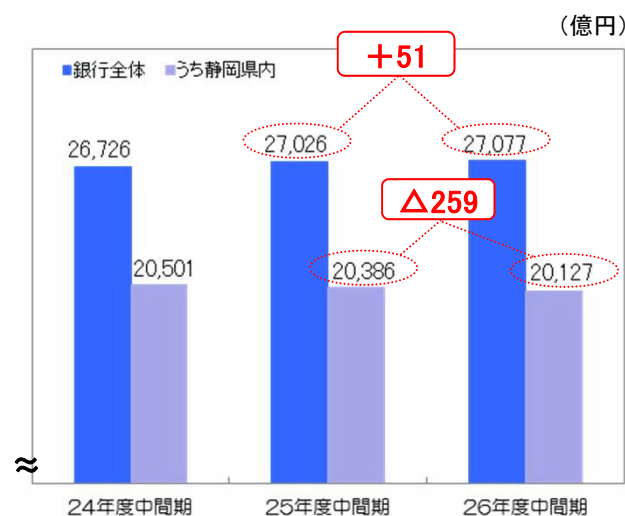
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,468億円(年率+2.9%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

【貸出金増減額内訳(前年同期比)】

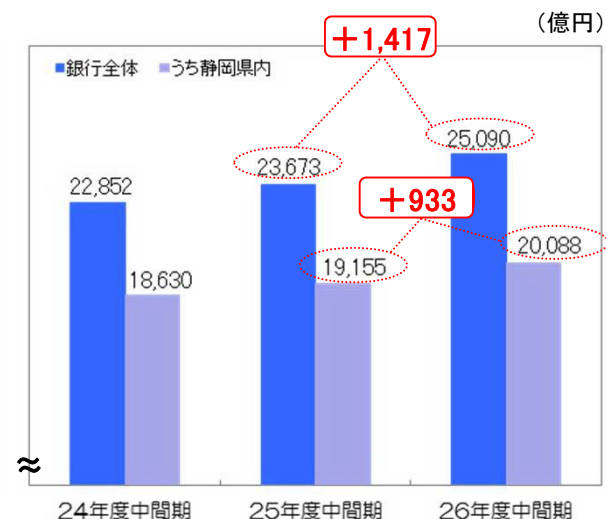


うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



※地方公社を含みません。

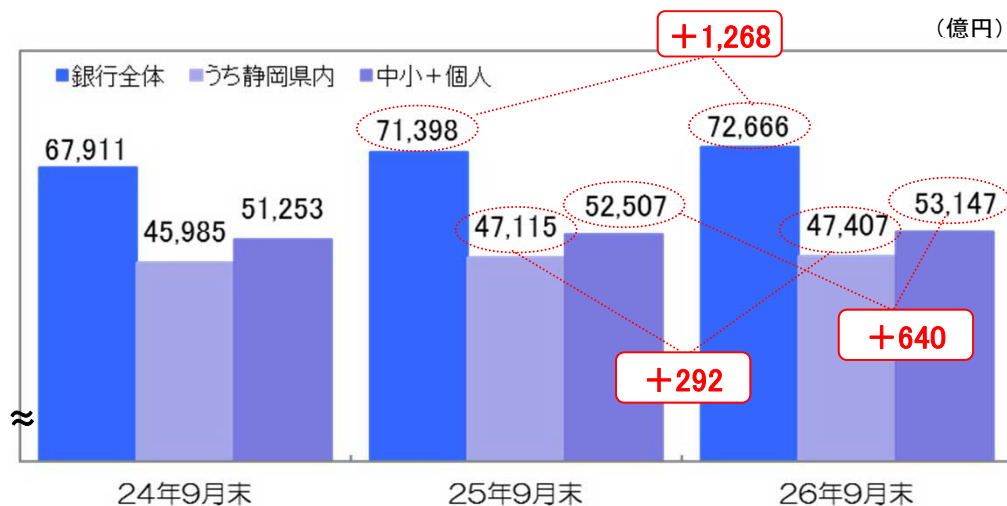
うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



※アパートローンを含みます。

貸出金の状況②

貸出金残高(末残)の推移



- 26年9月末の貸出金残高(末残)は、72,666億円と前年同期末比+1,268億円(年率+1.8%)の増加となりました。

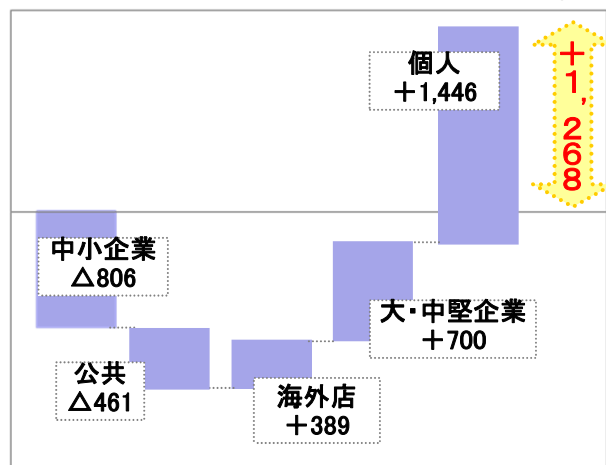
貸出金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・個人向け +1,446億円(年率+6.0%)
- ・大・中堅企業向け +700億円(年率+4.7%)
- ・海外店 +389億円(年率+20.8%)

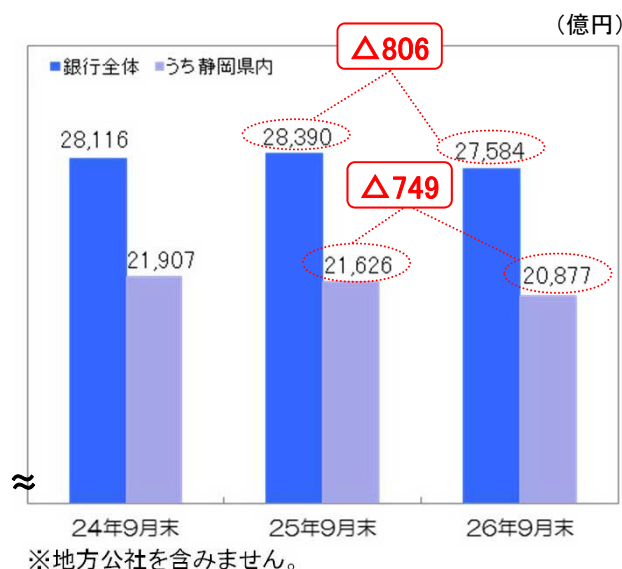
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+640億円(年率+1.2%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(末残)の増減

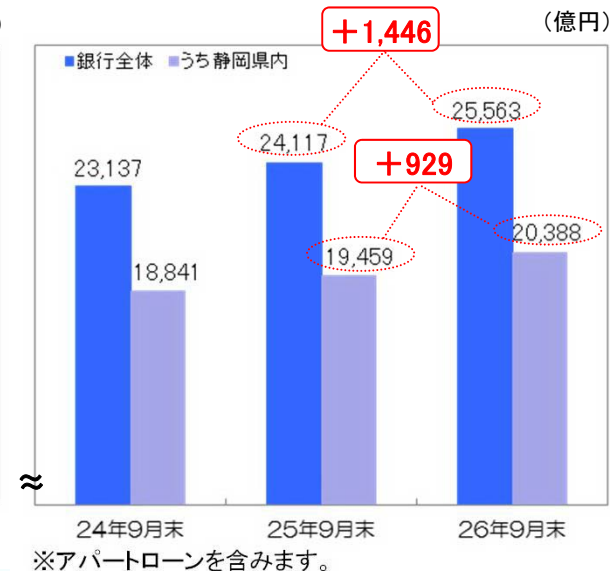
【貸出金増減額内訳(前年同期末比)】 (億円)



うち中小企業向け貸出金残高(末残)の推移



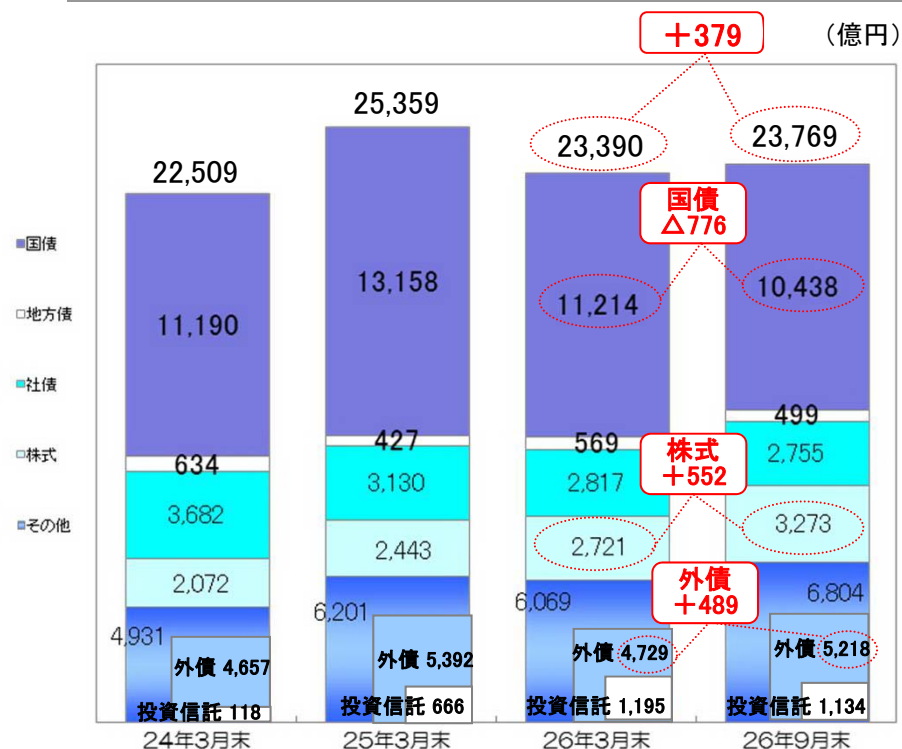
うち個人向け貸出金残高(末残)の推移



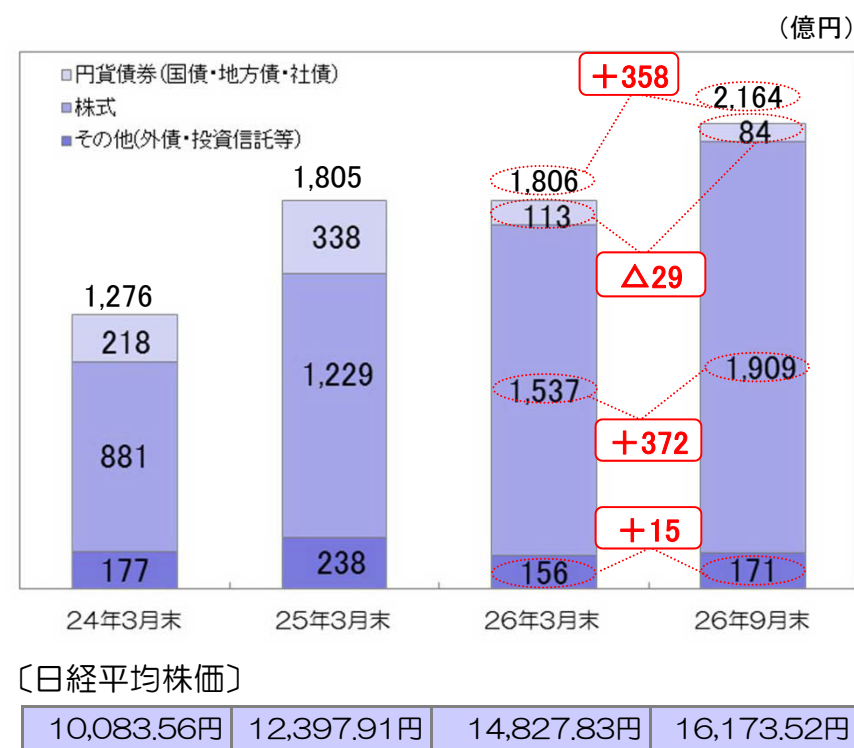
有価証券の状況

- 26年9月末の有価証券残高は、株式および外債の増加を中心に26年3月末比+379億円の23,769億円となりました。
- 26年9月末の有価証券評価損益は、株式を主因に26年3月末比+358億円の2,164億円となりました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移



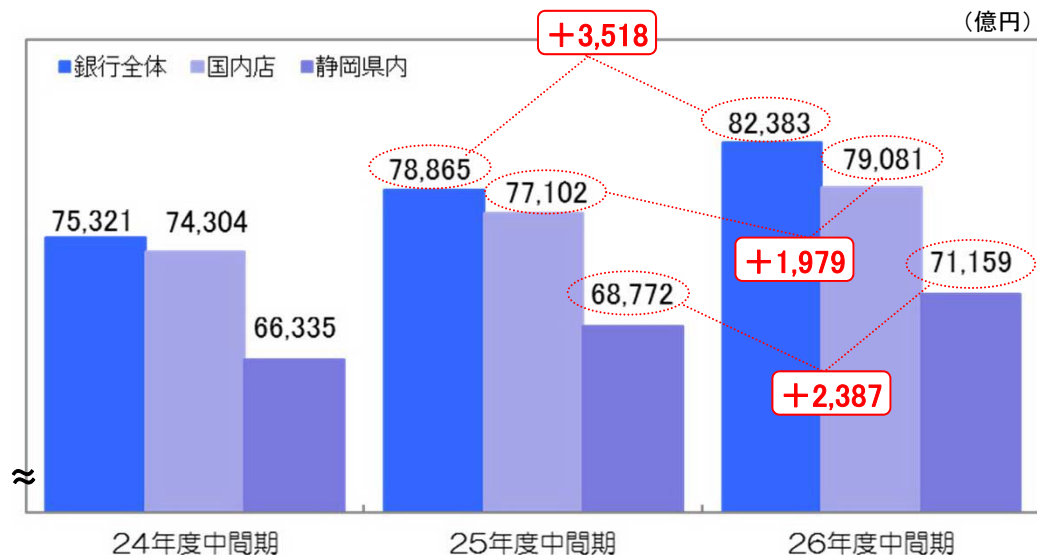
有価証券平均残存期間の推移

- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

	24年3月末	25年3月末	26年3月末	26年9月末
円貨債券	5.25年	5.24年	4.60年	4.08年
外貨債券	3.45年	3.97年	4.46年	4.59年

預金の状況①

預金残高（平残）の推移

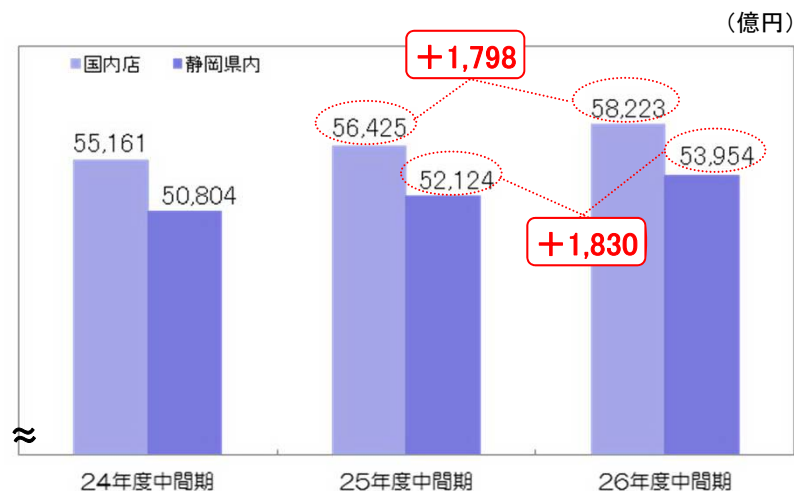


- 26年度中間期の預金残高(平残)は82,383億円と前年同期比+3,518億円(年率+4.5%)の増加となりました。

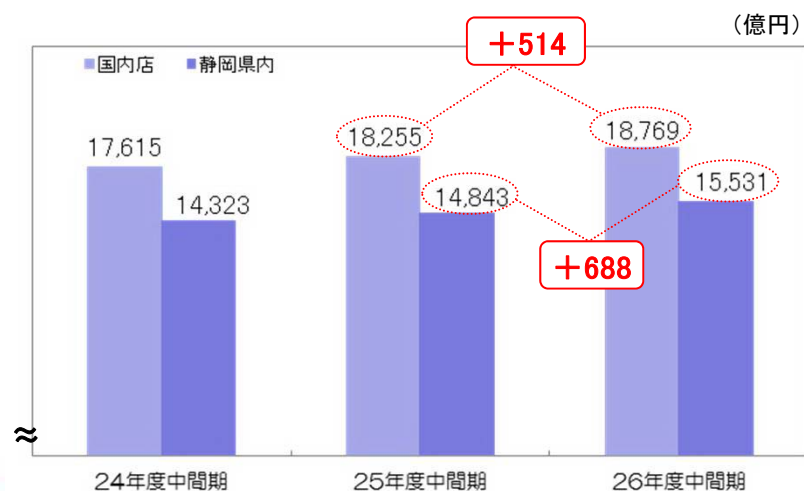
預金残高(平残)増加の内訳は以下のとおり

- 国内営業店※ +1,979億円(年率+2.6%)
- うち個人※ +1,798億円(年率+3.2%)
- うち法人 +514億円(年率+2.8%)
- 東京オフショア +1,368億円(年率+192.6%)
- 海外店 +171億円(年率+16.2%)
- ※インターネット支店+992億円(年率+36.1%)を含みます。

うち個人預金残高(平残)の推移

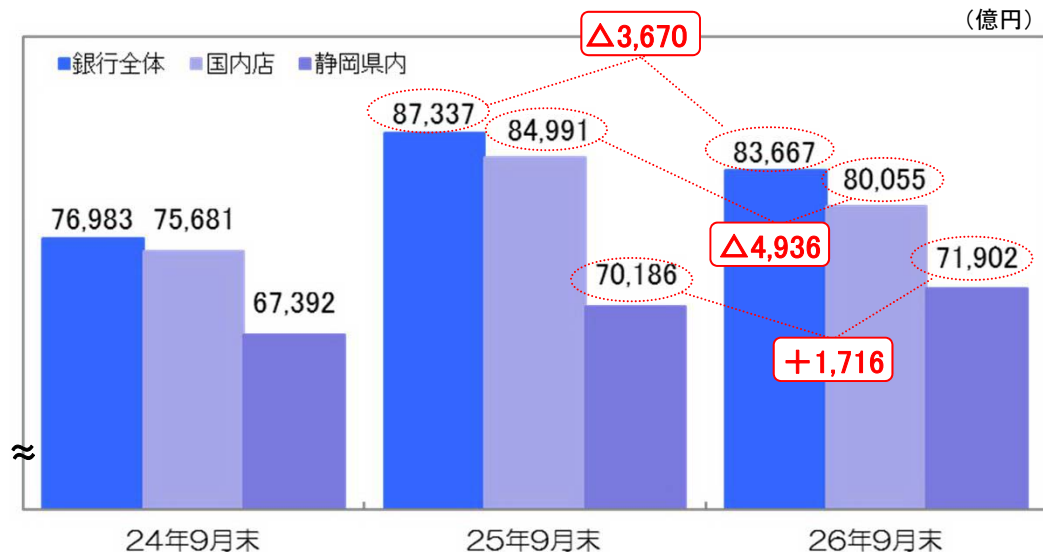


うち法人預金残高(平残)の推移



預金の状況②

預金残高（末残）の推移



- 26年9月末の預金残高(末残)は83,667億円と前年同期末比△3,670億円(年率△4.2%)の減少となりました。

預金残高(末残)減少の内訳は以下のとおり

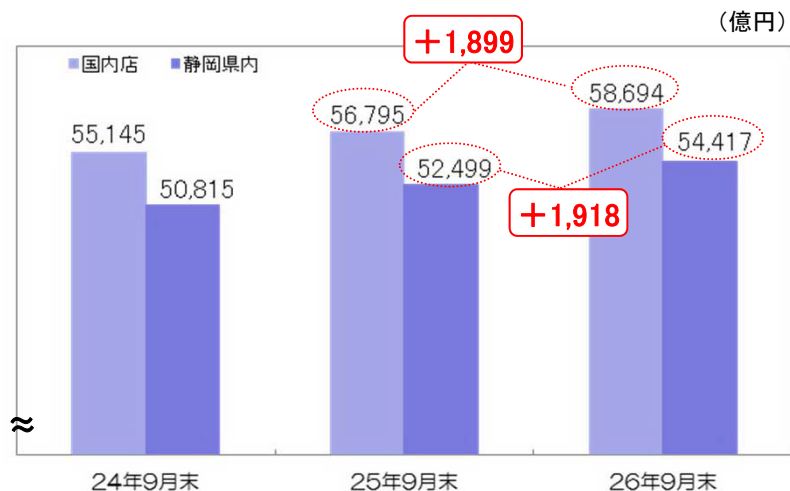
国内営業店※ △4,936億円(年率△5.8%)
うち個人※ +1,899億円(年率+3.3%)
うち金融 △6,143億円(年率△85.7%)

東京オフショア +1,201億円(年率+88.5%)

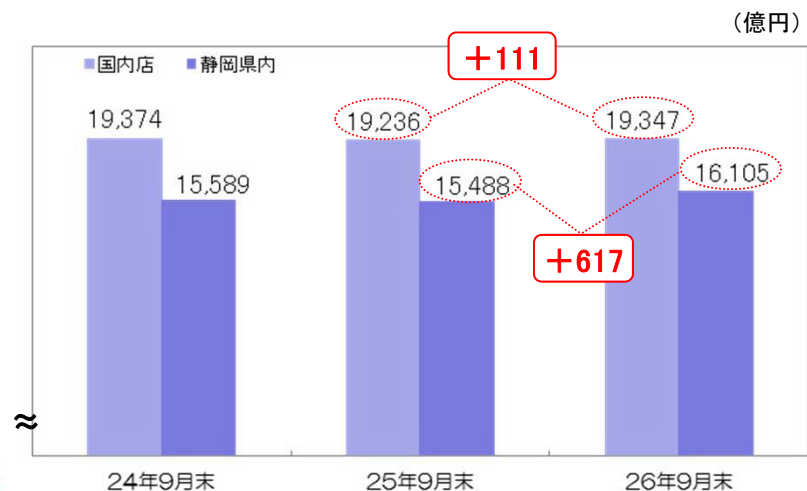
海外店 +65億円(年率+6.6%)

※インターネット支店+981億円(年率+31.8%)
を含みます。

うち個人預金残高(末残)の推移



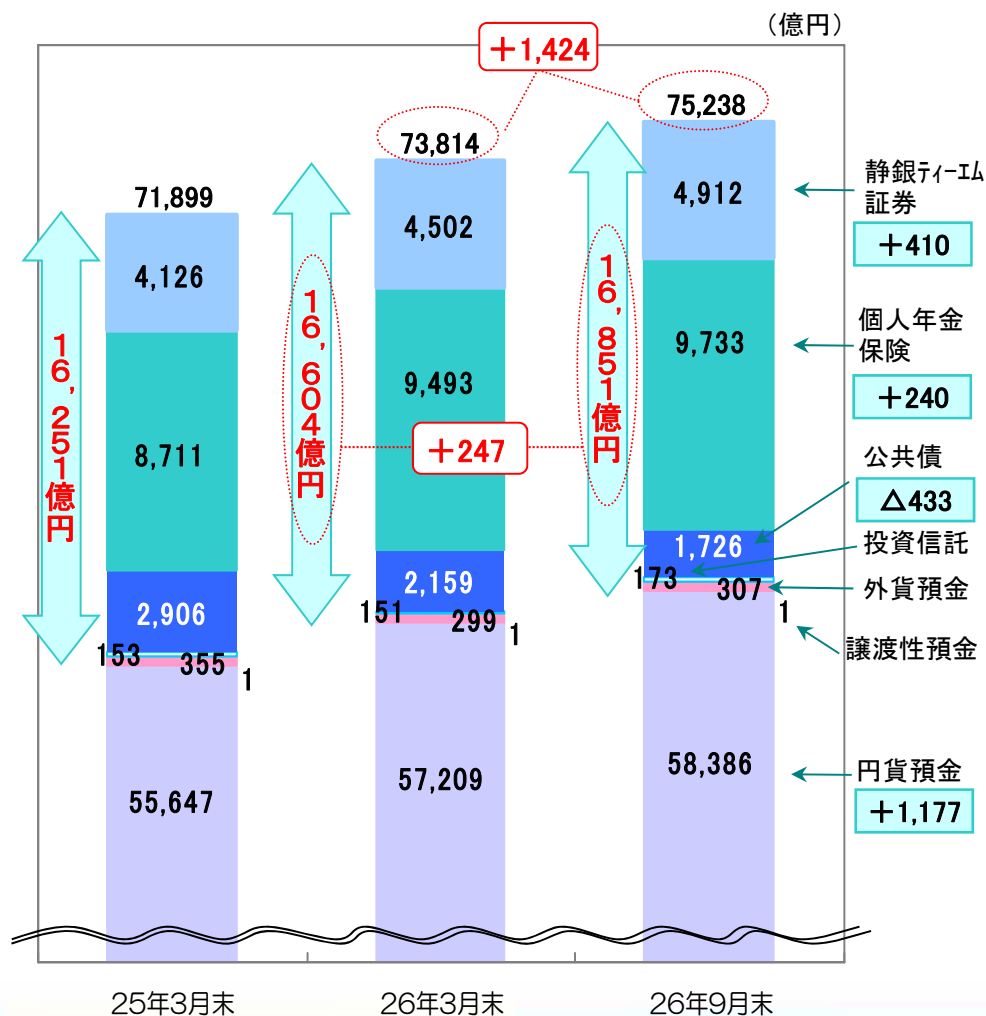
うち法人預金残高(末残)の推移



預り資産の状況

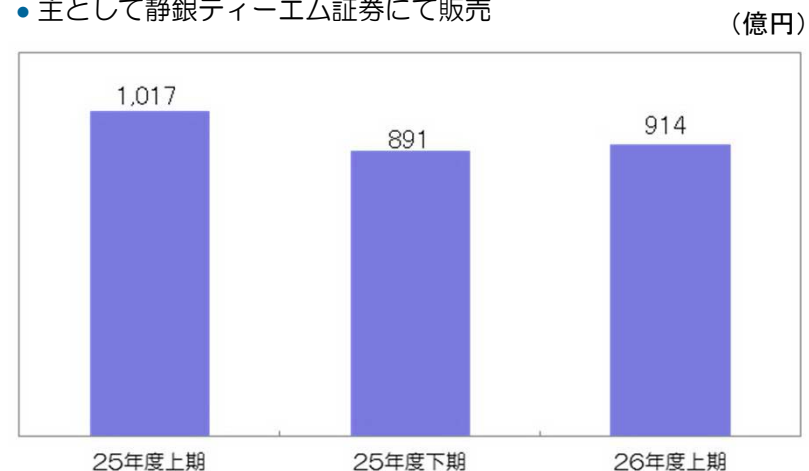
- 26年9月末の静銀ティーエム証券(株)を含む個人預り資産残高は75,238億円(26年3月末比+1,424億円)、また、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は16,851億円(同+247億円)となりました。

個人預り資産(末残)の推移

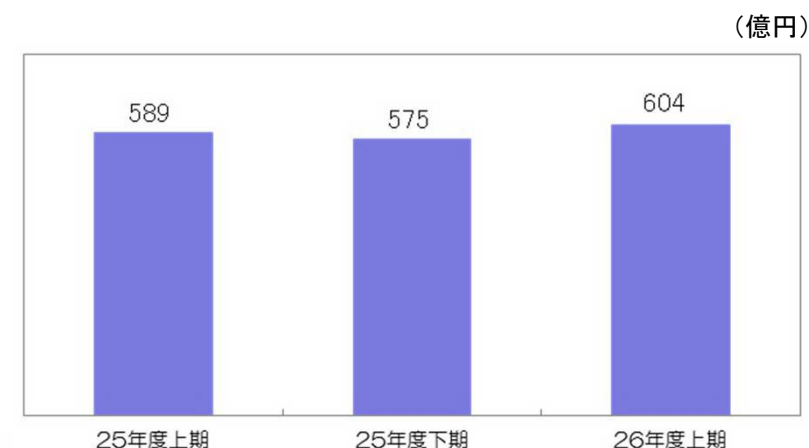


投資信託販売額の推移

- 主として静銀ティーエム証券にて販売



個人年金保険販売額の推移



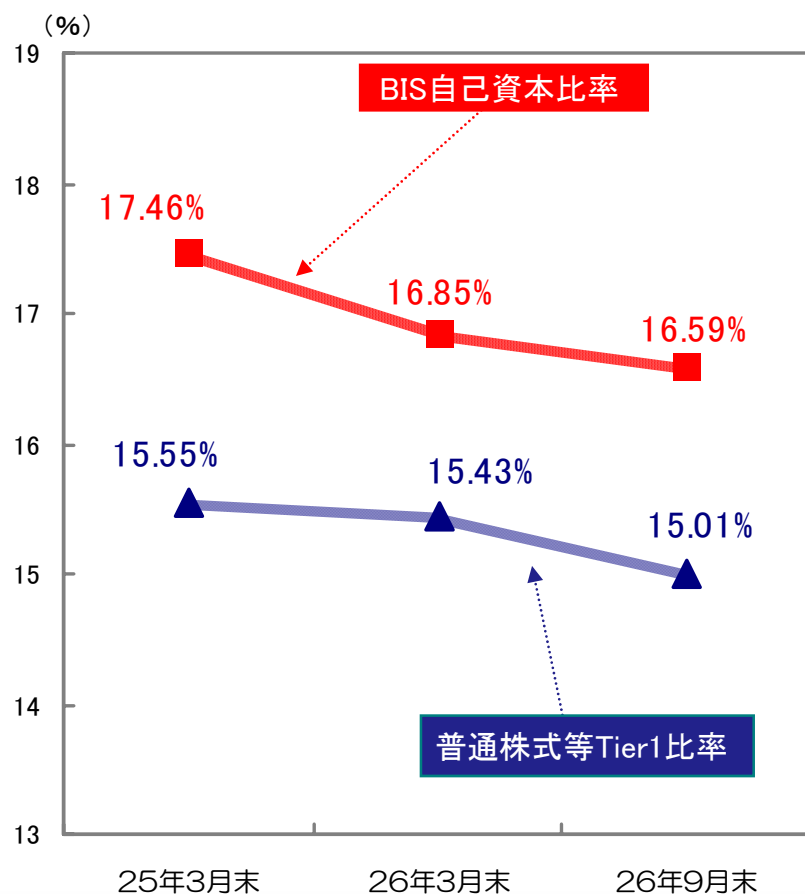
健全性① ～自己資本比率の状況

- バゼルⅢによるBIS自己資本比率（連結ベース）は、26年3月末比△0.26ポイントの16.59%となりました。
また、普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は、△0.42ポイントの15.01%となりました。

※1 バゼルⅢへの移行にともなう経過措置に基づく比率です。

※2 リスク・アセットの計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法を採用しています。

BIS自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	25年 3月末	26年 3月末	26年 9月末	26年 3月末比
自己資本（注）	7,685	7,829	8,028	+199
普通株式等Tier1	6,843	7,168	7,262	+94
その他Tier1	—	7	10	+3
Tier2	842	654	756	+102
リスク・アセット	44,001	46,436	48,376	+1,940
信用リスク・アセットの額	40,932	43,332	45,280	+1,948
マーケット・リスク 相当額に係る額	115	127	125	△2
オペレーショナル・リスク 相当額に係る額	2,954	2,977	2,971	△6

（注）優先株式、劣後債等を含んでいません。

健全性② ～与信関係費用の状況

与信関係費用：26年度中間期 △11億円(前年同期比+10億円)

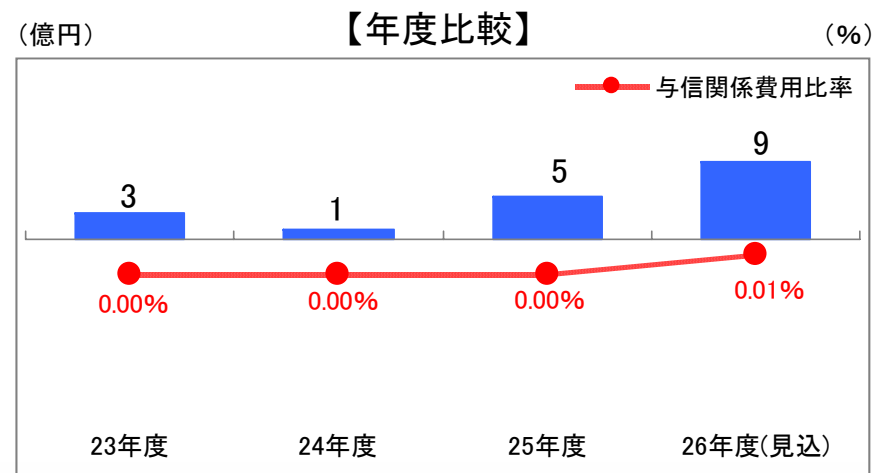
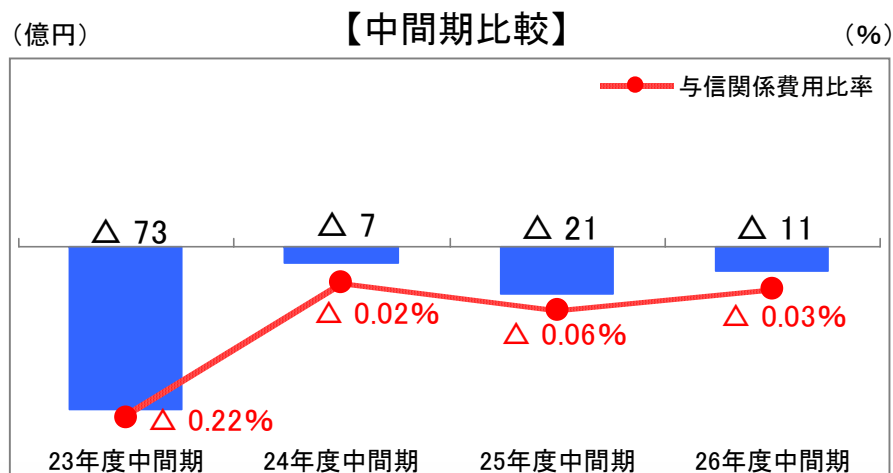
《与信関係費用の内訳》	26年度中間期	前年同期比
不良債権処理額※1 ①	3億円	△2億円
貸倒引当金戻入益※2 ②	14億円	△12億円
一般貸倒引当金繰入額	△35億円	+6億円
個別貸倒引当金繰入額	21億円	+6億円
合 計 ①－②	△11億円	+10億円

- ・債務者区分の引下げ等 42億円
- ・担保評価下落 2億円
- ・格上、回収等による取崩 △23億円

※1 不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額などを含みます。

※2 貸倒引当金戻入益は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額をネットینگしたものです。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



※ 与信関係費用比率（与信関係費用÷貸出金平残）を年間ベースに換算しています。

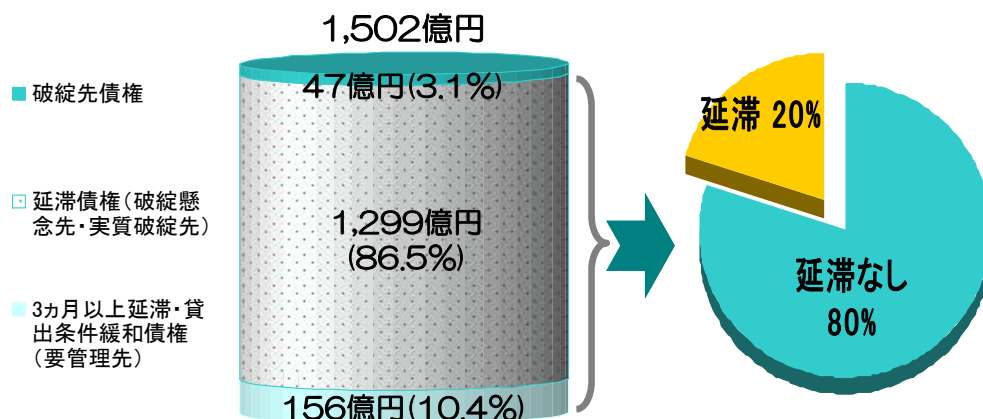
健全性③ ～不良債権の状況

リスク管理債権の状況（単体ベース）

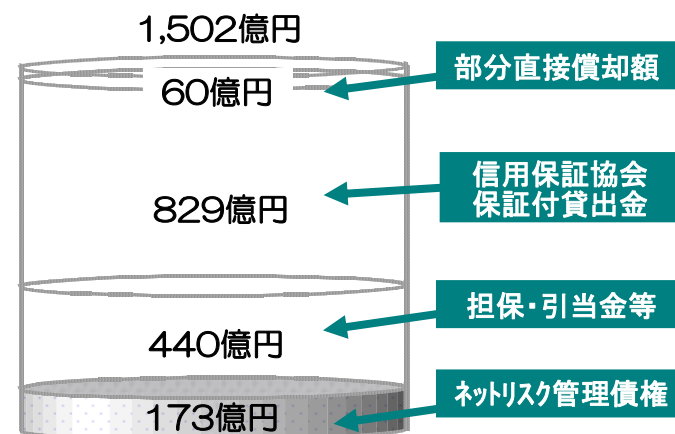
- リスク管理債権 1,502億円（26年3月末比△153億円）
- リスク管理債権比率 2.06%（ // △0.22ポイント）
- ネットリスク管理債権 173億円（ // △19億円）
- ネットリスク管理債権比率 0.23%（ // △0.03ポイント）

※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

26年9月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

不良債権のオフバランス化実績				
	24年度	25年度	うち中間期	26年度中間期
新規発生	+465	+335	+187	+135
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△714 (△669)	△716 (△632)	△387 (△351)	△288 (△262)
リスク管理債権	2,036	1,655	1,836	1,502

△153億円

(億円)

〔135億円の内訳〕 (億円)

要管理先	18
破綻懸念先	88
実質破綻先・破綻先	29

〔262億円の内訳〕 (億円)

本人弁済・預金相殺	31
担保処分・代位弁済	104
格上	93
債権売却	34
直接償却	—

地域密着型金融への取り組み①

- 静岡銀行グループでは、「基本理念“地域とともに夢と豊かさを広げます。”の実践を通じて、地域との共生による持続的成長を実現します。」を基本的な方針として、地域密着型金融を推進しています。
- 第12次中期経営計画の基本戦略の1つに「地域密着型金融のさらなる深化」を掲げ、「ビジネスマッチング」「次世代経営者塾『Shizuginship』の運営」および「経営改善・事業再生支援」をはじめとして、「取引先のアジア進出支援」や「事業承継支援」に積極的に取り組みました。

ビジネスマッチング

静岡銀行グループのネットワークを活用した
お客さまニーズのマッチングによる業容拡大支援

Shizuginship

次世代を担う静岡県内の経営者、後継者、実務担当者の皆さまに、
研鑽と交流の「場」を提供

経営改善・事業再生支援

業績低迷等により経営改善や事業再生を必要とするお客さまの
支援



お客さまとともに地域の未来を切り拓く総合金融グループ

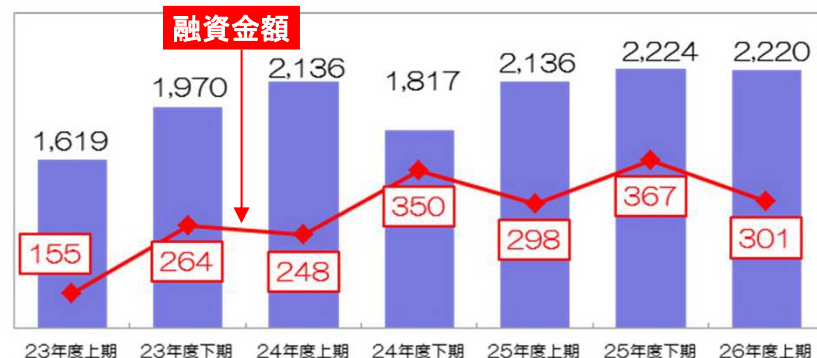
地域密着型金融への取組み②

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」、経営改善・事業再生支援および事業承継支援の具体的な成果・実績は以下のとおりです。

ビジスマッチング

【成約件数および融資金額の推移】

(件・億円)



主な商談会

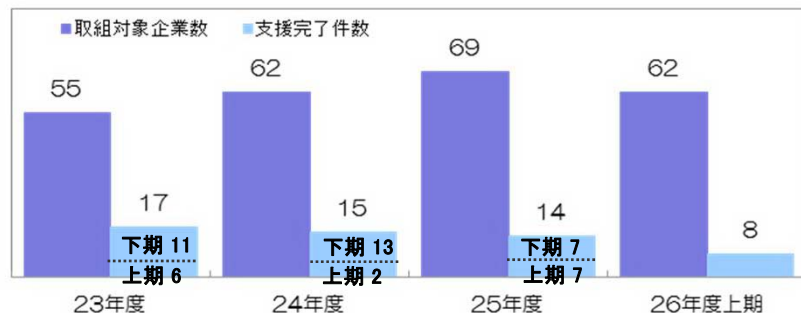
- しずぎん@gricom (26年7月、66社出展)
- 人とくるまのテクノロジー展2014 (26年5月、12社合同出展)

経営改善・事業再生支援への取組み

- 営業店・本部・グループ会社・中小企業再生支援協議会などの外部機関が連携してお客さまの経営状況に応じてきめ細かく対応し、迅速かつ円滑な事業再生支援に取り組んでいます。

【取組実績の推移】

(件)



次世代経営者塾「Shizuginship」

- 会員数：834社／1,259名 (26年9月末現在)
- 地域経済の将来を担う人材の育成支援とともに、各種イベントの開催、Webサービスによる情報提供などにより、会員の皆さまの事業発展をサポートしています。

26年度上期の活動実績 (会員参加人数 のべ669名)

内容	開催実績
セミナー (著名な経営者や専門家による講演会)	8回
ゼミナール (テーマ別に連続開催する講座)	全7講座
・エグゼクティブプログラム	2講座
・ミドルマネジメントプログラム	4講座
・ベーシックプログラム	1講座

事業承継支援への取組み

- 中堅・中小企業が直面する事業承継、事業継続問題に対し、静岡県事業引継ぎ支援センターなどの外部機関とも連携して対応しています。
- 26年度上期は、M&Aなどの手法を活用し、414件の事業承継支援に取り組み、株式購入資金など事業承継支援に関連した104億円の融資にも対応しました。

【26年度上期の主な取組実績】

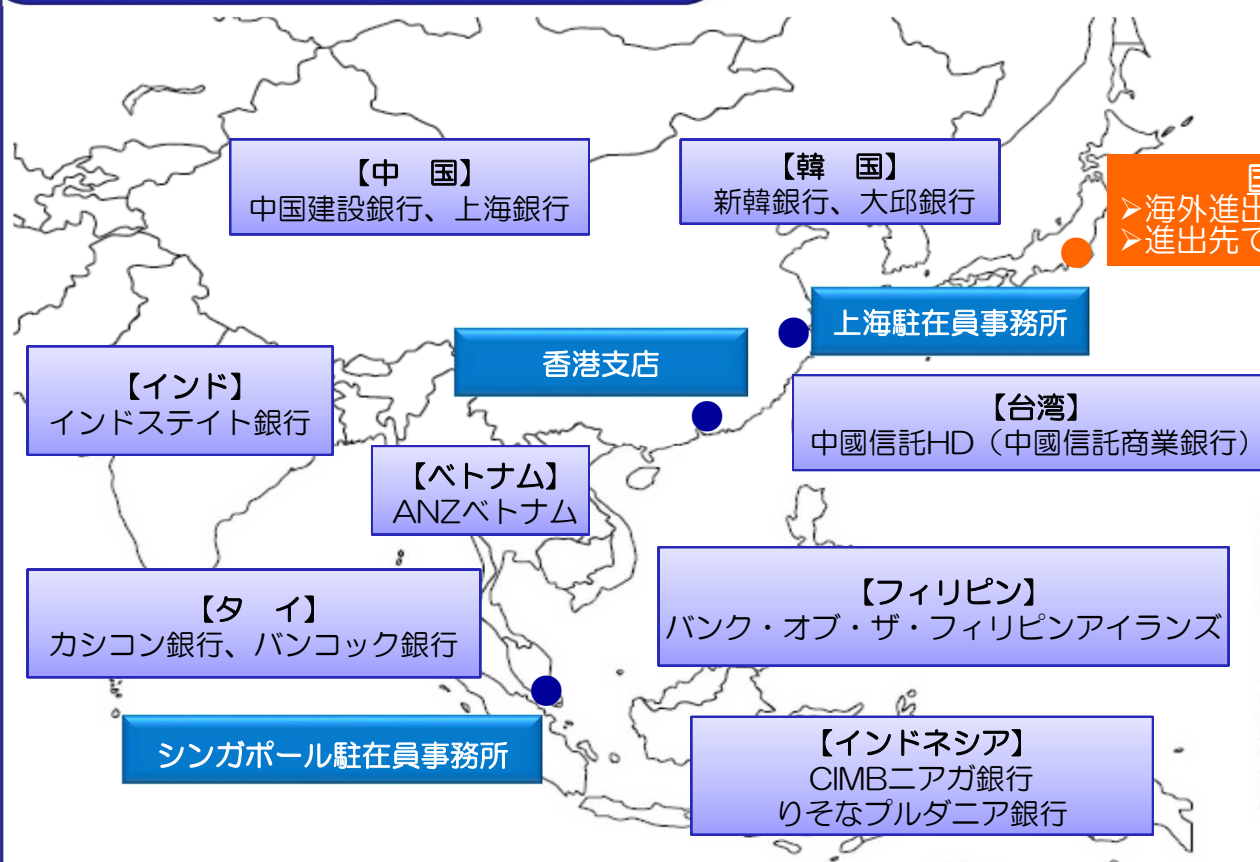
内容	実績
事業承継支援取組件数	414件
コンサルティング契約件数 (※)	16件
M&A成約件数	8件
事業承継に関連する融資件数/金額	113件/104億円

※グループ会社の静銀経営コンサルティング株式会社における実績

地域密着型金融への取組み③

- 静岡銀行では、取引先のアジアを中心とする海外進出を支援するため、現地金融機関との業務提携を通じ、取引先支援体制の整備を進めています。
- また、静岡銀行を含む地方銀行9行と現地の国際会計事務所との共同主催により、中国主要都市5カ所にてビジネスセミナーを現地のタイムリーなテーマで開催するなど、海外進出後の取引先支援にも取り組みました。

アジアネットワーク



国際営業部
➢ 海外進出支援の企画・統括
➢ 進出先での取引先支援



CIMBニアガ銀行と共催で「お取引先交流会」を開催
(26年8月)



地域密着型金融への取組み④

- 26年度上期における地域密着型金融の推進に関する主要計数は、以下のとおりです。

ライフサイクルに応じた支援強化

主要計数	26年度上期実績	(参考) 25年度実績
①経営改善支援取組み率＝経営改善支援取組み先(※1)数／期初債務者数（正常先除く）	4.8%	2.3%
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	664先	329先
期初債務者数（正常先、アパートローンのみ先除く）	13,695先	14,468先
②再生計画策定率＝再生計画策定先(※2)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	59.6%	89.1%
再生計画策定先数（正常先除く）	396先	293先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	664先	329先
③ランクアップ率＝ランクアップ先(※3)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	3.6%	4.0%
ランクアップ先数（正常先除く）	24先	13先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	664先	329先
④創業・新事業支援融資実績 〔「開業・新事業支援に関する制度融資」の期中実行件数・実行額〕	47件／506百万円	147件／1,155百万円

※1 経営改善支援取組み先＊：営業店による経営改善支援先(a)＋本部による事業再生集中対応先(b)＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※2 再生計画策定先数＊：(a)のうち経営改善計画策定先＋(b)のうち再生計画策定先＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※3 ランクアップ先：経営改善支援取組み先のうち、平成26年9月末の債務者区分が平成26年3月末と比較し上昇した先

＊重複は除く

株主還元の様況

- 第12次中期経営計画期間における株主還元の目標「中期的に株主還元率50%以上」に則り、業績などを総合的に勘案し、26年度の1株当たり配当額(年間)は、本年5月の公表どおり16円を予定しています。

配当額の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度予想
1株当たり配当額(年間)	13.50円	※15.00円	15.50円	16.00円(8.0円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.58%	1.42%	1.53%	—

※創立70周年の記念配当1円を含みます。

()は中間配当額

株主への利益配分の状況

(億円)

	23年度	24年度	25年度	26年度予想	21～25年度実績 (5年間)
年間配当額①	89	97	97	99	462(累計)
自己株式取得額②	146	82	227	※113	644(累計)
株主還元額③=①+②	235	180	324	212	1,106(累計)
当期純利益④	347	409	428	410	1,858(累計)
配当性向①/④×100	25.54%	23.78%	22.78%	24.14%	24.85%(平均)
株主還元率③/④×100	67.60%	43.93%	75.73%	51.74%	59.53%(平均)

※上期実施分を記載しています。

業績予想

(億円)

【連 結】	25年度実績	26年度予想	前年度比	(参考)
	(A)	(B)	(B-A)	26年度中間期実績
連結経常収益	2, 209	2, 150	△59	1, 126
連結経常利益	747	740	△7	370
連結当期純利益	467	475	8	242

(億円)

【静岡銀行単体】	25年度実績	26年度予想	前年度比	(参考)
	(A)	(B)	(B-A)	26年度中間期実績
経常収益	1, 861	1, 800	△61	954
業務粗利益	1, 445	1, 440	△5	792
資金利益	1, 262	1, 126	△136	582
役務取引等利益	148	156	8	77
特定取引利益	5	12	7	2
その他業務利益	29	146	117	130
(うち国債等債券関係損益)	19	124	105	123
経費 (△)	797	835	38	411
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—	—
業務純益	647	605	△42	381
臨時損益	25	35	10	41
経常利益	672	640	△32	422
当期純利益	428	410	△18	198
与信関係費用 (△)	5	9	4	△11

決算データ編

<貸出金の状況>〔平残ベース〕【単体】

(億円)												
	23年度			24年度			25年度			26年度	前年同期比 B-A	
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B		
貸出金		65,177	65,008	65,346	66,694	65,599	67,795	70,115	69,095	71,139	71,767	2,672
国内店①		64,130	64,107	64,154	65,219	64,459	65,983	68,168	67,343	68,997	69,500	2,157
一般貸出金（企業向け貸出金）※1		39,598	39,800	39,395	40,168	39,605	40,734	41,921	41,445	42,397	42,061	616
うち中小企業向け②※1		26,362	26,210	26,515	26,780	26,726	26,835	27,262	27,026	27,498	27,077	51
公共向け貸出金		2,133	2,087	2,178	2,035	2,002	2,068	2,239	2,225	2,254	2,349	124
うち中小企業向け(公社等)③		323	316	330	298	279	318	218	252	183	185	△ 67
個人向け貸出金④※2		22,400	22,220	22,580	23,016	22,852	23,181	24,008	23,673	24,346	25,090	1,417
(消費者ローン)※2		22,439	22,263	22,616	23,045	22,883	23,207	24,012	23,684	24,343	25,068	1,384
海外店		1,047	902	1,192	1,475	1,140	1,812	1,947	1,752	2,142	2,267	515
うち中小企業向け②+③		26,685	26,526	26,845	27,078	27,005	27,153	27,480	27,278	27,681	27,262	△ 16
うち中小企業等⑤=②+③+④		49,085	48,746	49,425	50,094	49,857	50,334	51,488	50,951	52,027	52,352	1,401
中小企業等貸出金比率⑤／①		76.53%	76.03%	77.04%	76.80%	77.34%	76.28%	75.53%	75.65%	75.40%	75.32%	△ 0.33%

【静岡県内の貸出金】

【静岡県内の貸出金】

(億円)												
	23年度			24年度			25年度			26年度	前年同期比 B-A	
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B		
静岡県内の貸出金		44,119	44,050	44,189	44,458	44,264	44,652	45,766	45,386	46,149	46,757	1,371
一般貸出金（企業向け貸出金）※1		23,693	23,808	23,579	23,743	23,659	23,827	24,230	24,090	24,372	24,385	295
うち中小企業向け⑥※1		20,274	20,248	20,301	20,501	20,501	20,500	20,473	20,386	20,560	20,127	△ 259
公共向け貸出金		2,125	2,079	2,171	1,979	1,976	1,982	2,165	2,141	2,188	2,284	143
うち中小企業向け(公社等)⑦		319	312	326	247	257	236	146	172	120	122	△ 50
個人向け貸出金⑧※2		18,301	18,163	18,439	18,736	18,630	18,843	19,371	19,155	19,589	20,088	933
(消費者ローン)※2		18,257	18,121	18,393	18,688	18,583	18,794	19,311	19,097	19,526	20,014	917
うち中小企業向け⑥+⑦		20,593	20,560	20,627	20,748	20,758	20,736	20,619	20,558	20,680	20,249	△ 309
うち中小企業等⑥+⑦+⑧		38,894	38,723	39,066	39,484	39,388	39,579	39,990	39,713	40,269	40,337	624

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

＜貸出金の状況＞〔未残ベース〕 【単体】

(億円)

	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末	25年9月末 A	26年3月末 B	26年9月末 C	25年9月末比 C-A	26年3月末比 C-B
貸出金	66,091	66,949	67,911	69,940	71,398	72,408	72,666	1,268	258
国内店①	65,081	65,719	66,688	68,254	69,531	70,248	70,410	879	162
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	40,367	40,848	41,521	42,491	43,138	42,907	43,032	△ 106	125
うち中小企業向け② ※1	27,435	28,284	28,116	28,305	28,390	28,117	27,584	△ 806	△ 533
公共向け貸出金	2,176	1,988	2,030	2,225	2,276	2,424	1,815	△ 461	△ 609
うち中小企業向け（公社等）③	296	289	313	277	190	193	131	△ 59	△ 62
個人向け貸出金④ ※2	22,538	22,883	23,137	23,538	24,117	24,917	25,563	1,446	646
（消費者ローン） ※2	22,571	22,917	23,165	23,555	24,118	24,901	25,526	1,408	625
海外店	1,010	1,230	1,223	1,685	1,867	2,159	2,256	389	97
うち中小企業向け②+③	27,731	28,573	28,429	28,582	28,580	28,310	27,715	△ 865	△ 595
うち中小企業等⑤=②+③+④	50,269	51,456	51,566	52,120	52,697	53,227	53,278	581	51
中小企業等貸出金比率⑤/①	77.24%	78.29%	77.32%	76.36%	75.79%	75.77%	75.66%	△ 0.13%	△ 0.11%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末	25年9月末 A	26年3月末 B	26年9月末 C	25年9月末比 C-A	26年3月末比 C-B
静岡県内の貸出金	45,389	45,936	45,985	46,876	47,115	48,009	47,407	292	△ 602
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	24,804	25,275	25,198	25,622	25,447	25,644	25,218	△ 229	△ 426
うち中小企業向け⑥ ※1	21,372	22,056	21,907	21,862	21,626	21,396	20,877	△ 749	△ 519
公共向け貸出金	2,169	1,977	1,946	2,142	2,210	2,359	1,801	△ 409	△ 558
うち中小企業向け（公社等）⑦	292	282	232	197	127	130	118	△ 9	△ 12
個人向け貸出金⑧ ※2	18,415	18,684	18,841	19,112	19,459	20,005	20,388	929	383
（消費者ローン） ※2	18,365	18,638	18,793	19,057	19,395	19,935	20,304	909	369
うち中小企業向け⑥+⑦	21,664	22,338	22,139	22,059	21,753	21,526	20,995	△ 758	△ 531
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	40,079	41,022	40,980	41,171	41,212	41,531	41,383	171	△ 148

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

<有価証券の状況> 【単体】

○有価証券ポートフォリオ

(億円)

	24年3月末		25年3月末		26年3月末		26年9月末		26年3月末比	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		
有価証券	22,509	100.0	25,359	100.0	23,390	100.0	23,769	100.0	379	—
国債	11,190	49.7	13,158	51.9	11,214	47.9	10,438	43.9	△ 776	△ 4.0
地方債	634	2.8	427	1.7	569	2.4	499	2.1	△ 70	△ 0.3
社債	3,682	16.4	3,130	12.3	2,817	12.1	2,755	11.6	△ 62	△ 0.5
株式	2,072	9.2	2,443	9.6	2,721	11.6	3,273	13.8	552	2.2
その他	4,931	21.9	6,201	24.5	6,069	26.0	6,804	28.6	735	2.6
うち外貨債券	4,657	20.7	5,392	21.3	4,729	20.2	5,218	22.0	489	1.8
うち投資信託	118	0.5	666	2.6	1,195	5.1	1,134	4.8	△ 61	△ 0.3

○有価証券評価損益

(億円)

	24年3月末	25年3月末	26年3月末	26年9月末	26年3月末比
その他有価証券	1,276	1,805	1,806	2,164	358
株式	881	1,229	1,537	1,909	372
債券	218	338	113	84	△ 29
その他(外債、投信等)	177	238	156	171	15

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	10,083.56 円	12,397.91 円	14,827.83 円	16,173.52 円	1,345.69 円
--------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

○減損処理による影響

(億円)

減損基準	損益への影響
●時価のある株式・債券 期末の時価が簿価に比べ30%以上下落したもの	86.9
●時価のない株式等 期末の実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの	0.1
合 計	87.0

※時価のある株式には、関係会社株式を含んでおります。

<預金・預り資産の状況> 【単体】

○預金の状況（末残）

(億円)

	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末	25年9月末	26年3月末	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比
					A	B	C	C-A	C-B
預金	72,909	76,741	76,983	79,325	87,337	82,343	83,667	△ 3,670	1,324
国内営業店預金	72,197	75,855	75,681	77,478	84,991	79,388	80,055	△ 4,936	667
うち個人預金	52,746	55,081	55,145	56,002	56,795	57,508	58,694	1,899	1,186
うち法人預金	17,968	18,145	19,374	19,090	19,236	18,887	19,347	111	460
静岡県内預金	63,966	68,362	67,392	69,536	70,186	71,758	71,902	1,716	144
うち個人預金	48,459	50,691	50,815	51,686	52,499	53,254	54,417	1,918	1,163
うち法人預金	14,194	15,166	15,589	15,712	15,488	15,708	16,105	617	397
譲渡性預金	4,332	4,141	2,634	4,838	2,846	4,459	4,998	2,152	539
合計	77,241	80,883	79,617	84,163	90,183	86,802	88,665	△ 1,518	1,863

○個人預り資産の状況（末残）

(億円)

	23年9月末	24年3月末	24年9月末	25年3月末	25年9月末	26年3月末	26年9月末	25年9月末比	26年3月末比
					A	B	C	C-A	C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	62,851	65,797	66,007	67,773	68,730	69,312	70,326	1,596	1,014
円貨預金	52,412	54,736	54,828	55,647	56,479	57,209	58,386	1,907	1,177
譲渡性預金	1	1	1	1	1	1	1	0	—
外貨預金	334	345	317	355	316	299	307	△ 9	8
投資信託	135	144	131	153	158	151	173	15	22
公共債	3,723	3,465	3,184	2,906	2,613	2,159	1,726	△ 887	△ 433
個人年金保険	6,246	7,106	7,546	8,711	9,163	9,493	9,733	570	240
静銀フィード証券の個人預り資産	3,251	3,559	3,468	4,126	4,226	4,502	4,912	686	410
静銀フィード証券を含む個人預り資産	66,102	69,356	69,475	71,899	72,956	73,814	75,238	2,282	1,424
うち円貨預金・譲渡性預金除き	13,689	14,619	14,646	16,251	16,476	16,604	16,851	375	247

<平成26年9月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権> 【単体】

- ・ 総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合2.04%（部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合1.95%）
- ・ 貸出金に占めるリスク管理債権の割合2.06%（部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合1.98%）

自己査定における 債務者区分		自己査定分類区分（対象：貸出金等与信関連債権）				担保・保証等 による保全額	引当額	保全率	金融再生法に基づく開示債権 対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権) うち私募債		リスク管理債権 対象：貸出金	
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	破綻先債権	延滞債権
破綻先 51 <24>		45 <18>	6	- (3)	- (28)	104	78	100.0%	182 <121>	-	47 <24>	
実質破綻先 131 <97>		94 <61>	37	- (14)	- (33)							
破綻懸念先 1,170 <1,167>		907 <904>	159	104 (116)		950	116	91.1%	1,170 <1,167>	-	1,299 <1,262>	
要 注 意 先	要管理先 182	7	175			要管理先の保全額 100	8	59.3%	要管理債権 (貸出金のみ) 156	-	3カ月以上延滞債権 7	貸出条件緩和債権 149
						要管理先のうち要管理 債権に対する保全額 78	7	55.1%				
						要管理先のうち要管理 債権以外の保全額 22	1	83.1%				
9,198						要管理先以外の要 注意先保全額 6,079	168	69.3%	正常債権 72,327		合計 1,502 <1,442>	
要管理先 以外 の要 注意 先 9,016												
正 常 先 63,121		63,121					148			163		
合 計 73,671 <73,607>		非分類合計 68,079 <68,015>	Ⅱ分類合計 5,488	Ⅲ分類合計 104 (133)	Ⅳ分類合計 - (61)		合計 518		合計 73,835 <73,771>	163		

- ※ 1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
 2. 自己査定分類区分における（ ）内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しております。
 3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を〈 〉内に記載しております。部分直接償却 64億円
 4. 要
注
意
先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等（優良担保・優良保証）を控除した額をすべてⅡ分類としております。
 5. 正
常
先については、国・地公体向けの非区分債権が含まれております。
 6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債が含まれております。

<債務者区分の遷移状況(残高ベース)> 【単体】

【26年3月～26年9月】

(億円)

		当初残高 A	26 年 9 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
26 年 3 月 末	正常先	62,374	57,693	600	7	6	7	1	4,060	14	0.02%	3	0.00%
	要注意先	9,437	680	8,459	10	83	13	16	176	112	1.18%	20	0.21%
	要管理先	192	10	10	155	8	1	0	8	9	4.68%	2	1.04%
	破綻懸念先	1,273	7	77	10	1,086	39	20	34				
	実質破綻先	171	0	4	1	12	84	5	65				
	破綻先	52	－	2	－	－	1	24	25				

【25年9月～26年9月】

(億円)

		当初残高 A	26 年 9 月 末							デフォルト額 B+C+D E	デフォルト率 E/A	個別貸倒引 当金繰入額 F	繰入率 F/A
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他				
25 年 9 月 末	正常先	60,805	55,112	1,073	11	13	9	2	4,585	24	0.03%	9	0.01%
	要注意先	9,633	1,051	7,993	17	159	21	29	363	209	2.16%	47	0.48%
	要管理先	231	24	25	143	9	1	0	29	10	4.32%	2	0.86%
	破綻懸念先	1,366	23	159	10	1,009	45	25	95				
	実質破綻先	222	1	13	4	31	77	7	89				
	破綻先	59	－	2	0	－	－	12	45				

※1. 計上基準：与信残高は26年3月末、25年9月末の残高を使用し、26年9月末までの間の与信額の増減は考慮していません。

2. その他については26年9月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。